

SEC フラッシュレポート

財務報告の改善に関する SEC のアドバイザリーコミッティによる 最終報告書草案の公表と公開会議の開催

(2008年7月14日)

2008年7月11日、米国証券取引委員会 (SEC) の財務報告の改善に関するアドバイザリーコミッティは、公開会議を開き、財務報告プロセスの複雑性を減らし投資家への財務情報の有用性を高めることへの詳細な提言について討議した。アドバイザリーコミッティの報告書の草案は下記から入手することができる。

<http://www.sec.gov/about/offices/oca/acifr/acifrdfr-071108.pdf>

この報告書は主に5つのテーマに関して、詳細な提言を含んでいる:

- (1) SECに提出される報告書での情報の有用性を高め、一方で報告者の負荷を減らすこと。
- (2) 会計基準設定プロセスを強化し、より有効で効率的なものとする。
- (3) 新しい会計基準の本質的な設計を改善し、根底にある目的と原則をより明確にすること、会計基準の選択適用を形式的に決定するようなテスト (all-or-nothing bright-line tests) を避けること、業種別ガイダンス方式を見直し、根底にある事業活動に焦点を移すこと。
- (4) 権威付けられていない文献を見直し、権威付けられた解釈指針を作成すること。
- (5) 財務報告の修正再表示 (リステイトメント) と会計上の判断に関するガイダンスを明確化すること。

アドバイザリーコミッティは、2007年7月にSECにより任命され、彼らの提言はPCAOBやSECそしてFASBに適切な期間を経て適用されるものであると確信している。アドバイザリーコミッティの提言が広範な利害関係者の意向を反映するように、最高財務責任者 (CFO) や監査法人の役員、監督当局の前メンバー、監査委員会メンバー、投資家など、その構成員にはさまざまなグループが含まれる。報告書の範囲は、SEC登録企業に関連する事項に限定され、4つの章にまとめられている。

- 1章は重要な複雑性に関連する論点を取り上げる。
- 2章は基準設定プロセスに焦点を合わせている。
- 3章は監査プロセスと法令順守の改善に係る提言を提供する。
- 4章は財務情報の提供を改善する方法を提案する。

アドバイザリーコミッティは、2008年7月31日に予定されているミーティングで、SEC議長へ最終の提言を提出するかどうかについて投票することとなっている。8月に最終報告書が発行された際には、我々は、この最終の提言についてのより詳細なFlash reportを発行する予定である。